

★学校周辺は、滋賀県は、日本は、どんな地域なのだろう？

マトリックス

B Tのはじめの問い

滋賀県の農業の特色はどのようなものなのだろう。



	初めのイメージ	地理を学んで
学校周辺	A. 片たらがな土地がたがた ・びわ湖がある ・埋め立て地 ・短い川が多い ・住宅地 ・低く片たらがな山が押し下る ・昭和三十九年が残り ・坂道が多い ・学校が多い ・高い建物	D ・湖岸の埋め立て地には農業施設やマンションなどが多く、昔から陸地おた土地には住宅街がたがた ・いるから、街の様子や土地利用の様子がよくわかる ・歴史的な街 ・液状化
滋賀県	B ・山に囲まれた湖 ・自然豊かな ・びわ湖がある ・気候がよい ・城がある ・特産品がある ・大津市のベトナム ・交通の要所	E ・交通の要所 ・県内は盆地におた ・びわ湖がある → 近畿の水がめ ・他県に比べて湖の水質汚濁の問題は深刻 ・近畿大都市圏のベトナム ・気候が県内異なる
日本	C ・地形や気候が各地域 ・地点により様々 ・豊かな自然がある ・山が多く、川が急 ・四季がある	F ・南北に長いので、特産品が異なる ・豊富な森林資源がある ・先進国で、第一次産業が盛ん

今と昔の地図を見比べると、土地の持手が異なることが分かる。開墾がすすんで、街

B Tで提案したい問い

滋賀県の農業の特色はどのようなものなのだろうか。また、これから滋賀県の地理的条件を生かして、農業を更に発展させる方法はどのようなものだろうか。

【論述】 初めの問いと比べて、どのように変わりましたか？ どのように深めることができましたか？ 地理で学んだことをもとに説明しましょう

初めの問いは、滋賀の農業について調査するだけのものだったが、それが、社会を学習して、農業を更に発展させるには、何か必要かという問いに発展した。滋賀や全国の地理について学習して、農業と地理などといった地理的条件は深く関係があることがわかった。滋賀県は全国的にも稲作の割合が高いが、大都市の近くであることから

ID	名前	この単元の自己評価 (A B C D)	評価
		・論述の難易度 易 普 難	S

近郊農業にかき入れやすいのではないかと、これらの授業から考えた。